

社団法人 日本助産婦会 宮城県支部だより 創刊号

新役員紹介特集

平成13年9月22日発行

ごあいさつ

宮城県支部長 新田 双葉



秋も日毎に深まり行くこの頃でございますが、会員の皆様にはお元気で過ごしてでしょうか。お伺いします。
13年6月16日の総会で支部長に推薦されて早、3ヶ月近くになります。今までの仕事に加えてまた仕事が増えたなと実感しています。

20数年も宮城県支部長として助産婦会を引っ張ってこられた野窪前支部長は大変だったろうと推察されます。体調を崩されて種々の情報をお聞きするチャンスもないまま、他界されてしまいました。突然の事で会員一同悲しみにくれましたが、会としては新たに態勢を整えて、前に進まなければなりません。支部長の役を引き受けたからには役員・理事会員が協力して、2001年新世紀を自分たちの会(組織)である事を一人一人が実感できるように、進めて行きたいと思っております。

総会で決議された事業計画に沿ってと、新たに名簿の作成、地区割の明確化、機関紙の発行等を実施して行こうと役員会で決まり、着々と準備しております。新体制の方針を会員の先生方に隔々まで情報を流す事を第1目標に取り組みます。それによって活発なご意見も頂戴できるのではと期待しております。

日本助産婦会本部では、男性助産師問題・会館貸借問題、規約の改正等、諸々の問題を抱えてより良い環境作りに取り組んでいます。我々支部でも、助産婦の地位の向上と社会へのプロとしての参加、母子支援への取り組みに培った知識、技術を還元して行けるように努力していこうではありませんか。ご一緒に前進しましょう。会員皆様のご協力を切にお願いしてご挨拶といたします。

役員のご紹介(アンケート)

現在の主な活動の場はどこですか？

❁ お好きな事・得意な事はなんですか？

苦手な事は？

♥ 助産婦の仕事を一言で表すと？

会員の皆さんにメッセージをどうぞ。

支部長 新田 双葉

汐見台クリニック(開業医)にて皮膚科・内科・小児科・婦人科・アレルギー科の診療介助、乳房マッサージ・乳幼児育児相談・予防接種相談・更年期相談

❁ サッカー観戦・社交ダンス

じっとしている事・早起き

♥ オールマイティー

ご一緒に前進しましょう



副支部長

戸村 たまよ

月1回の支部役員会・仙台市泉区の理事
新生児訪問は平成12年3月引退。

その後時々、相談を受けている。

- ✿ 旅行・温泉・園芸 等
字を書く事(特に最近は...)
- ♥ 母と子の支援または相談役
- # 助産婦の権利を忘れずにがんばろう



副支部長

新田 みつ子

- ・ 東北労災病院産婦人科婦長
- ✿ 乳房ケアー 母乳外来にて実践している
- ・ 特になし
- ♥ 愛 和
- ・ 「助産婦」好きですか。私は好きです。
みんなから「助産婦さん」と呼ばれたいですね。



会計

伊藤 祝子

私は現在宮城県支部の会計をさせて頂いています。平成5年から担当させて頂いていますが、当初不慣れで大変でしたが皆様のお力添えでなんとか今日仕事ができるようになりました。会員の皆様の会費を正確に使わせて頂いています。亡母の後継者として昭和23年開業しました当時、開業助産婦全盛時代で年間分娩が200件と八

ードな助産活動をしました。時代の推移とともに昭和36年仙南保健所長委託を受け、現在住んでいる柴田町の新生児訪問指導員として活動しました。平成9年から町に移管されましたが、ひきつづき現役で新生児と育てるお母さんが健やかに生活出来るようお手伝いさせて頂いています。

- ✿ 音楽を聴く(クラシック) 野菜作り 料理を作ったり漬物をつけたり、花作りをして仏壇に供えることが好き、得意なことなし
必要以上に緊張すると気分が悪くなる
- ♥ 過去はお産を取り上げる人。現在は妊産褥婦の自主性を尊重してまるとかかえこんで、支援する。
- # 助産婦ひとりびとりが研鑽し、妊産褥婦をサポートして幸せな家族作りを応援して下さい。



書記

田村 雪子

助産院(出張専門)マミーズルー

△田村

光が丘スペルマン病院非常勤職員
赤ちゃんほっとダイヤル電話相談員
尚絅短大講師小児保健講師
仙台医師会準看護学校母性看護学講師

- ✿ 独学で学んだパソコンにハマっています。
また、この頃出来ずにいますが、洋服作り、編物(機械)大好き。プラス誕生後ずっとやらせてくれたことに感謝しつつ、こどものヘアークットはプロ並?
立食パーティ(内気です。?)
洗濯物をたたむこと
- ♥ 母子保健の担い手 家族形成への支援者
社会へのアピール必要。
- # 初めての大き役にて、何かと気づかずにおることが多いと思います。ご指導の程よろしくお願い致します。

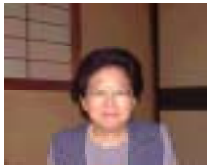


教育部長

小山田 信子

東北大学医療技術短期大学看護学科 母性看護学で講義と実習を担当

- ✿ 読書
カラオケ
- ♥ “黒子” かな
- # 一緒に会を盛り上げてゆきましょう！！

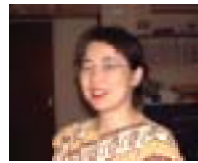


勤務部会長

後藤 美子

国立仙台病院看護助産学校 助産婦科に勤務しております。当校は学生定員35名ですが、今年は31名の学生です。北は北海道、南は近畿地方からと広範囲から助産婦を目指して集まって来ています。教官は私を含め3名と教務と教務助手1名です。看護教育が実践力より、思考に重点を置いていますので、学生たちの看護技術の経験が少なく、とても未熟です。ですから、実習では毎日、「未知との遭遇(目が点になる!)」で冷や汗の連続です。でも、臨床指導者の厳しくも暖かい指導のもとに、来年3月には地に足のついた助産婦のヒヨコにしたいと、奮闘中です。

- ✿ 山に行くこと(今は時間がなく行けず、ストレス上昇中) 園芸
カラオケ ジェットコースター
- ♥ 「産婆」; 女性が母親になるのを手伝う女やりがいのある仕事
- # 今年から引き受けたばかりで、会のことはほとんどわかりません。いままでの活動や他県の活動を見ながら、会の活性化を図りたいと思っています。会員全員で会を盛り上げましょう。いろんな情報をお寄せください。よろしく願いいたします。



開業部会長

伊藤 朋子

とも子助産院(平成12年5月泉区に開業・入院分娩を扱っている。) 泉区新生児訪問。

助産婦自主グループにより、「お産と母乳と歯のワークショップ(M&M&P)」「おばあちゃまのための育児講座(三婆)」「性教育出張講座(うぶごえ座)」じょさんぷりん・「助産婦と楽しむヨガクラス」などに関わっている。

- ✿ お産に寄り添う事・お産の話をする事・料理
地図を読む事・数字・整理整頓
- ♥ 怖い事もあるけど、たまたま魅力的でやめられない。麻薬のような仕事。
- # 助産婦は、医療職のマイノリティー(少数民族)です。時々さみしい思いも…。助産婦による助産婦だけの会、大事な会と思います。先輩の助産婦華やかりしころのお話を沢山うかがい、宮城で働く助産婦は皆、助産婦会に入りたくなる…そんな会にしていきたいでしょう。



保健指導部会長

松田 美由紀

石巻市斎藤産婦人科(非常勤)

石巻市新生児訪問

- ✿ 友達とビール片手にワイワイやること 自動車の運転 ピアノ 雑貨や
緻密に計画を立てたり、作業すること
- ♥ 母と子の味方
- # 4年前から会員だったものたまに講習会にでるだけで、会のことには関心が薄かった私。サビついた頭と感覚を研ぎつつなんとかやっていきたいと思っています。もっともっと会員が増えるようにがんばりましょう。



監事
大友 れい

名取市母子保健推進委員

生涯学習推進委員・新生児訪問指導員

- ✿ 辞書をみる事 地図を調べる事 山歩き
得意なこと 別になし
人と争うこと大嫌い
- ♥ 命と心
- # 健康第一 笑うことのおすすめ



監事
石川 初枝

産婦人科外来勤務しております。
主に更年期の相談に応じています。

- ✿ どこへ行くにもカメラ持参チョットシャッター
赤ちゃんの笑顔大好き
- ♥ 生涯を通して女性の健康を支援していくこと
- ・ 助産婦として友達の輪を広めるために会員になっ
て下さい。



監事
鈴木 キネ

仙台市助産婦会のまとめ役、県支部役員会・仙台市部会
員連絡、数は少ないが母子保健指導

- ✿ 身体を使って動く事が好きですが、得意な事は別に
なし。
人と争う事大嫌い
- ♥ 健全な母体出産を助け、母子保健相談役として助産
婦は活動する、
- # 助産婦として組織の一員として力強く活動な
されて欲しいと思います。

宮城県委託第1回講習会の報告

平成13年7月14日(土)アエル6Fにて行われ、約50
名の参加者がみられた。

午前の部は、東北大学医学部皮膚科学講座、菊池克子先生の
最近の研究成果を交えて、「乳幼児の皮膚のトラブルとそのケ
ア」というテーマで90分講演いただいた。皮膚の解剖、生理
的な知識の確認に始まり、未熟児、成熟児新生児、成人との違
いについてわかりやすく説明していただいた。アトピー素因に
関する基礎的知識の確認と、先生の研究成果の一部として、新
生児の皮膚のPH、水分、油性成分量の変化、アトピーの家族
歴、生まれ月との関連に関する興味深いデータを示していただ
き、ケアする側の知見が広められた。また紫外線と可視光線の
皮膚に対する影響について、映像を用いた説明では、皮膚の老
化がよく理解できた。アメリカの日光照射指針から、6ヶ月以
下の乳児は薬を用いない日よけの方法が適しており、それ以上
の子どもにはサンクリー剤を用いる事を教示いただいた。日常
的にはSPF15程度で十分であり、また、サンクリーには、
物理的なものと科学的なものがあり、前者の方が刺激が少ない
という、現実的に即活用できる有意義な内容であった。

午後の部は13時から90分、宮城県赤十字センター研究室
長の菊池正輝先生に「血液の話 最近の血液・血液製剤をめぐ
るトラブルを中心に」というテーマで、スライドを多数活用
して講義いただいた。近年多発している医療事故であるが、輸
血時の手順や患者観察等その重要性が再認識された。また臍帯
バンクなど宮城県における実施期間など知る事ができ、これも
近頃妊婦さんとかかわりで話題に上る事が多くなっている事
であり、現実的で活用できる内容であった。

15時からの情報交換では、勤務部会長から助産士問題に関
する各方面からの資料をふんだんに揃えていただき、開業部会
長、保健指導部会長の問題提起により、会場から活発な意見が
出された。一助産婦としてどのように考えるのか、自分なりの
考えを深めるよい機会になったと考える。

(文責；小山田)

第2回県委託講習会のお知らせ

日時； 10月20日〔土〕9時半～16時10分

場所；こくろう会館

参加費；当会会員 500円(当日受付にて)

非会員 1000円 学生 100円

テーマ **気づいていますか？子どものSOS**

平成13年度宮城県委託第2回助産婦会宮城県支部講習会

プログラム

9:30 受け付け開始

9:55 開会挨拶

10:00～11:30

「宮城県における子どもをめぐる問題とその現状」

講師 宮城県子ども総合センター主任主査

齋藤 和子 氏

13:00～14:30

「診察室から見た子どもの悩み」

講師 山形大学医学部看護科 教授

塩飽 仁 氏

14:40～16:10

「保健室から見た子どもの悩み」

講師 仙台市立中田中学校養護教諭

北村 志津枝 氏

16:10 閉会

申し込み：

各地区長、施設代表の先生経由 支部長 新田双葉

022-357-6562

書記 田村雪子

022-257-7610

F A X (又 は 電 話) 、 メ ー ル

Tamuyuki@pastel.ocn.ne.jp をお願い致します。

こくろう会館

仙台市若林区新寺1-4-31

022-299-7436

日本助産婦会宮城県支部では、講習会を非会員にも開放する事になりました。医療職以外のかたでも参加可能です。興味のある方は、どうぞ、お申し込み下さい。

支部だよりについての問合せ・投稿先

〒981-3131

仙台市泉区七北田字東裏46-1 (伊藤)

022-772-5960

Fax 022-772-5961

Eメール cyr02323@nifty.ne.jp

**日本助産婦会 宮城県支部 **

〒985-0822

宮城郡七ヶ浜町汐見台南1丁目1-5

新田 双葉

Fax 022-357-6562

講演会のお知らせ



助産婦が必要なわけ

ブラジル母子保健プロジェクト報告からー

講師: **毛利多恵子さん**

(毛利助産所助産婦、元 JICA 助産専門家)

男性助産婦反対運動の中心メンバーです。

JICA(国際協力事業団)ブラジル母子保健家族計画プロジェクトの助産婦として大きな成果をあげて帰国した毛利さん。「人間的な出産」「出産・出生のヒューマニゼーション」という言葉が世界中にインスパイアされました。今あらためて日本の「助産」の力や本質を共に考えようとさらにパワーアップして活動なさっています。ブラジルでのスライドやビデオを用いて熱くそしてやさしく語ってくださいます。

日時:2001年10月9日(火)

(開場:13時15分 開演 13:30~15:00)

場所:エルパーク仙台 5階 セミナーホール

参加費:医療者 1000円 一般・学生 500円

主催:じょさんぷりん (申し込み不要、直接会場へ)

連絡先:塩野 377-4004 伊藤 772-5960



母乳フォーラムin宮城

10月20日(土) 14時~16時

仙台商工会議所(仙台市東二番町通り)

主催;宮城県母乳育児をすすめる会

1月3日(祝)PM1時30分~

仙台福祉プラザ(第1研修室)

いいお産の日in仙台

「さあ力を抜いて お産と育児を味わおう」

講師; **九島 璋二 先生**

(元お産の学校講師・マタニティーヨガ協会顧問)

主催 いいお産の日in仙台実行委員会

申し込み グループTOMO 214-3210

伊藤 772-5960

実行委員・ボランティア募集中です。

~~~~役員会便り~~~~

1. 機関紙を発行しました。

タイムリーな情報を共有化し、会員相互の親睦、専門的知識・技術の向上、また助産婦会の活動を社会にアピールしていくことを目的に、機関紙を発行致すことになりました。年3回の発行を予定しております。各施設代表の先生、各地区長の先生経由でお届けします。

担当は、開業部会長 伊藤朋子氏、保健指導部会長 松田美由紀氏です。皆さんのところにも暫時投稿依頼が参るかと思えます。ご協力の程よろしくお願い致します。

2. 宮城県支部会則、細則の見なおしについて

会則、細則の見なおしが必要であることは、ご承知頂いておるところです。本部からの会則見なおし案も届いております。宮城県支部としては、定款検討委員を4名位で設立し、来年度の総会へ向けて検討致したいと考えております。また、役員改選につきましては、推薦委員の設立も検討しているところです。

3. 地域母子支援センター設立について

全国的にみますと、上記が設立されていない県が少ないのが現状です。宮城県にも設立出来ないものか。次年度に向けて検討をしております。以下進行状況をお知らせ致します。

・仮称 ”子育て・女性健康支援センター in みやぎ”

・事務所（フロア）電話がひけ、ポストもあり、机もあるところ。

候補 仙台市市民活動サポートセンター

・出来ることからはじめていいのでは？ 無料電話相談、思春期相談、性教育など。原案を作成し、各会員の協力態勢を探って行きたいと考えております。

これからの企画

学習会

”助産婦の法的責任、医療事故”

11月ごろ 参加者負担で開催予定

助産院における分娩介助、自宅出産での介助、また家庭訪問中の思わぬ物損、何気ない言動からの人権侵害、妊婦への保健指導による母児への生命への危機.....

また、ご存知のように施設の中でも医師の元だからと安心して居る時代は過ぎました。

医療事故の現状を知り、その予防に努めると共に、あつては欲しくないのですが、いざ当事者になったときの動き方を学んでおきましょう。